

講座「磯子で日本語ボランティア」 開催実施報告

区分:報告

掲載日:2021年3月

内容:2020年度磯子区日本語ボランティア入門講座、講座「磯子で日本語ボランティア」を開催しました。

開催報告

講座 磯子で日本語ボランティア

《概要》

◇目的

新たに磯子区で日本語ボランティアとして活動することを希望する人に対し、ボランティアとしての心構え、地域に暮らす外国人の現状等についての説明等を通じて、地域での外国人への支援の必要性を理解しボランティア活動への参加を促す。オンラインを含む多様な方法を知ることを通じ、コロナ禍での活動参加の一助とする。

◇趣旨

地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業において、磯子区の地域振興課と連携し、市域日本語教育の推進に係る関係機関、団体等の有機的な連携の促進を図るとともに、日本語教育人材の育成のための日本語ボランティア入門講座を行う。また第4,5回目は磯子区内の既存ボランティアも対象に、オンラインを活用した活動について講義・実践機会を提供する。

◇日時 2021年1月19日・26日、2月2日・9日・16日 いずれも火曜日
13:30~16:00 全5回

◇形式 第1回~3回 会場開催
第4回・5回 会場もしくは好きな場所(PC・タブレット等を使用したオンライン)

◇参加者 磯子区で日本語ボランティア活動をしてみたい方 24人

◇会場 横浜市社会教育コーナー

◇講師(敬称略)

日高嘉恵:鶴見区の日本語教室「日本語で楽しむ会」他で、長年地域の日本語学習支援にかかわってきました。令和元(2019)年度に磯子区で実施した日本語教室体験研修では、日本語サポーターを担当しました。

嶽肩志江:横浜国立大学非常勤講師、横浜市地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業プログラムアドバイザー他。各地で日本語ボランティア研修を担当しています。

日時 13:30~16:00	テーマ	参加 (*含オブザーバー参加)
第1回 1月19日 火	磯子の多文化共生について 日本語ボランティアとは	27人
第2回 1月26日 火	日本語のしくみ 分かりやすく伝えるためのやさしい日本語① 基礎編	27人
第3回 2月2日 火	日本語のしくみ 分かりやすく伝えるためのやさしい日本語② 応用編	28人
第4回 2月9日 火	オンラインでの日本語学習① ~Zoomにチャレンジ(基本操作の紹介) オンラインでの日本語ボランティア活動の実践例	26人
第5回 2月16日 火	オンラインでの日本語学習② ~日本語ボランティアを体験してみよう ☆磯子区で活動する日本語ボランティア教室の紹介	25人

第1回 磯子区の多文化共生について／日本語ボランティアとは

1. はじめに ★磯子区役所のお話



磯子区に居住している外国人の人口・最近の変化などの外国人の現状・磯子区での多文化共生についての説明や、地域の日本語ボランティア教室の現状についての話がありました。

2. 講義 (担当講師: 日高嘉恵さん) ★講義と教室の様子



講師の自己紹介では、日本語ボランティを始めたきっかけなどの話がありました。

その後、講師から日本語ボランティア教室で取り上げる話を広げるためのポイントやその工夫など、日本語学校とボランティア教室の違いなどについての話がありました。

グループに分かれて、参加者の皆さんも自己紹介と講座参加への動機などを話しました。

3. 講義後 受講者の声 (振り返りシートから一部抜粋)

- ・気づかされた言葉「教える一教わるの関係ではない」
- ・ボランティアは一方通行ではなくフラットな関係であることが分かった。
- ・身の回りの素材を使用して、分かりやすく話をしていく、グループワークで意見をまとめていくこと、様々な素材があり興味深く話し合うことができた。
- ・文型や文法ではなく日常の会話が大切!身近なものを使っの活動。

第2回 日本語のしくみ・わかりやすく伝えるためのやさしい日本語① 基礎編

★講義 (担当講師: 嶽肩志江さん)



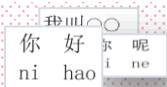
講師から、外国語としての日本語の捉え方についての話がありました。また、生活のさまざまな場面で使えるようになるための活動を、「やさしい日本語」を使って体験しました。

★講義後 受講者の声 (振り返りシートから一部抜粋)

- ・普段は何気なく使っている数の数え方も実は外国の方には大変難しいことだと思った。やさしい日本語はとてもいいアイデア。広く日本で使われるといいな・・・と思う。
- ・私たちが普段は何気なく使っているものの教え方やカレンダーなどもパターンがあり、それに沿って学習していくと、難しく考えたり覚えたりしなくてもよいと知りました。どうしても言語を学ぼうとすると文法が・・・とか、イントネーションが・・・と思ってなかなか一歩踏み出せなかったりするので、もっとハードルを下げたて簡単に考えて良いのだということを知りました。

第3回 日本語のしくみ・分かりやすく伝えるためのやさしい日本語② 応用編

★外国語体験



★講義 (担当講師:日高嘉恵さん)



講座の初めに、言語が全くわからない人の気持ちを体験してみようと中国出身者からの中国語ミニ体験授業を行いました。

その後の講義では、日本語の各テキストの特徴の説明や、やさしい日本語のポイントについての話がありました。

★講義後

受講者の声(振り返りシートから一部抜粋)

- ・実際の授業内で活動をグループ内で学習して活動の様子が少しわかった気がする。最初に導入して全く知らない中国語を聞き、全く日本語を知らない人の気持ちが少し分かった気がした。知らない言語を聞くこと話すことの難しさを感じた。
- ・自分が教える立場になるとさらに身近に感じられた。様々な人に質問したりして、その中で会話を広げていき、お互いに学習して行くことが大切。そして、お互いを知っていき、何が必要とされてるかを細かく学習していけると良いと思う。

第4回 オンラインでの日本語学習①～Zoomにチャレンジ(基本操作の紹介) オンラインでの日本語ボランティア活動の実践例

★Zoomにチャレンジ(基本操作の紹介)



第4回はオンラインの基本操作の紹介後、講師から、オンラインを使った日本語学習活動の実践例「YOKEはじめての横浜～日本語で話そう」、「トピックスかいわ教室」の紹介がありました。

★講義後

受講者の声(振り返りシートから一部抜粋)

- ・学習さんが求めていることが皆さんそれぞれである。資料がリアルだと会話がはずむ。Zoom 楽しいです。
- ・オンライン日本語クラスの実践例が勉強になりました。「本当に聞きたくなる言いたくなる」場面設定の重要がわかりました。

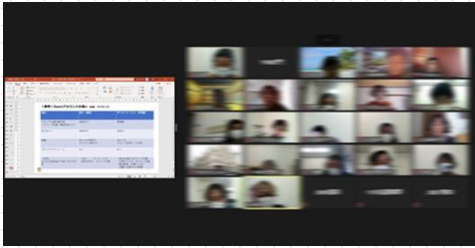
★会場の様子(第4回・第5回は同様)



第4回・第5回は、自宅と社会教育コーナーで同時に行う「ハイブリッド形式」で開催しました。

第5回 オンラインでの日本語学習②～日本語ボランティアを体験してみよう

★オンライン基本操作復習とその先の一步へ



講座最終回の今回は、前回のオンラインの基本操作編の応用編で、活動するうえで知っている便利な機能や活動方法などの紹介がありました。

つづいて、オンラインでの日本語支援の活動を実際に体験しました。

★受講者の声(今回の講座終了後のアンケートから一部抜粋)

- ・日本語教室という堅苦しいイメージではなく、気さくな雰囲気での会話を通して日本語を身に付けられた場になっているんだと改めて知りました。
- ・講座を始める前には日本語を教えるテクニックを学ぶ講座と思っていましたが、日本語ボランティアはフラットな関係でともに学ぶという事が理解できた。Zoomを学べたのは今後の為に非常に良かった。
- ・母国語としての日本語を外国人に学んでもらうためには、あたり前の概念を崩すことが必要。
- ・磯子区に居住している外国籍の方が多いことと、日本語をサポートするボランティア団体が思ったより多いことが分かりました。また、この講座の参加者も予想以上に多く、何か役に立ちたいと思っている方がたくさんいらっしゃるのだと驚きました。

★磯子区で活動する日本語ボランティア教室の紹介

質疑応答時の会場の様子

質疑応答時のオンライン上での様子

多文化共生スポット ワールドキッズ

磯子日本語教室
いそごにほんごきょうしつ

根岸日本語教室

日本語を話す会
Welcome to Japanese Speaking Class. Let's enjoy Japanese Conversation. Bring W/Passport, Notebook, Kanji/Japanese reading and pencil.

※活動場所

- 根岸中学校 コミュニティハウス
- 横浜市社会福祉協議会 (磯子センター内)
- 横浜市社会教育コーナー
- 洋光台地域ケアプラザ
- 磯子区役所 7階
- ★ 磯子区役所

にほんごくらぶ

磯子日本語の会
夜の会話サロン

横浜市社会教育コーナーにて
社会人: 18:00~20:00
小中学生: 17:30~19:00

終わりに～YOKE から一言

第5回講座の最後には、磯子区内で活動している各日本語教室から、教室の活動現状などの紹介がありました。

受講者からもいろいろ質問がでました。

全5回の講座への参加、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

受講された方たちのこれからのご活躍を応援しています。